

大里駅の取り扱いについて

1. 地域公共交通会議における主な意見

- コミュニティバス「接続便」である以上、バスに接続することが大前提であると思う。
- 接続便の本来の趣旨から判断すると、鉄道駅に接続便乗り場は設置できないが、「大里駅」はバス停留所を廃止した場所でもあるため、特例として検討しても良いと思う。
- 鉄道駅への設置により、需要の増加が見込まれるため、車両の供給不足が懸念される。
- コミュニティバス接続便を運行した場合、市の負担額はいくら掛かるのか。
- 大里駅に設置した場合、他の鉄道駅の取り扱いをどうするのか。
- 稻沢おでかけタクシー事業とのバランスを考慮して進める必要がある。
- 大里駅の需要が多いようであれば、バス路線の延長を検討しても良いのではないか。

2. 今後の協議について

大里駅までのアクセスについては、「コミュニティバス接続便」での対応について協議を進めてきましたが、これまでの本会議でいただいた御意見や課題を踏まえ、前回会議でも意見がありました「コミュニティバス路線の延長」も一つの選択肢とし、改めて最適な手段を検討する。